

「令和元年度 ぎょさい推進全国会議」を開催

令和元年9月26日、東京都内で「令和元年度 ぎょさい推進全国会議」を開催しました。この会議は、共済団体が重点推進目標とする漁協の役職員等を対象に、漁業共済及び漁業収入安定対策事業の普及拡大を目的とし、全国各地から総勢100名を超える方々にご出席頂きました。



会議は、冒頭の本会宮原会長の主催者挨拶(古寺専務代読)の後、本会役員が漁業共済及び漁業収入安定対策事業の制度概要、全国実績を説明しました。その後、漁業共済や漁業収入安定対策事業が漁業経営の安定に寄与した事例として、岩手県 重茂漁協の前川参事、愛媛県 八幡浜漁協三瓶支所の城戸支所長にそれぞれ体験発表をして頂きました。

前川参事の『「ぎょさい」に『かんしゃ!』そして『これからも!』』と題した体験発表では、漁業共済の制度発足当初から利用していて、自然災害の脅威から漁業者を守る仕組みとして「ぎょさい」が大変有効であり、特に東日本大震災では助けられた旨、お話し頂きました。

城戸支所長の「ピンチをチャンスに捉えた『ぎょさい』推進」と題した体験発表では、平成24年の大規模な赤潮被害を機に、ぎょさい加入の機運が高まり、水産関係団体が一丸となって推進活動を展開し、地方公共団体の掛金助成も力強い後押しとなり、手厚い加入に繋がった旨、お話し頂きました。

最後に水産庁漁政部石川漁業保険管理官から「水産政策の改革と今後について」として、水産政策改革の背景や漁業法等の改正の概要等についてご講演頂き、本会議を閉会しました。

共済団体は、ぎょさいや積立ぶらすが漁業経営のセーフティネットとして機能したエピソードや、普及推進の現場の取り組みの情報収集を行っております。

令和元年の上半期の引受実績は、昨年度を上回っており、下半期におきましても、より一層の加入拡大へ向けて尽力して参ります。関係各位のご支援・ご協力の程、よろしくお願ひします。

令和元年度の加入実績 (9月末累計)

(単位：百万円)

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁獲共済	171,845	167,197	103%	10,369	8,688	119%
養殖共済	193,080	176,964	109%	7,094	6,605	107%
特定養殖共済	12,569	12,418	101%	684	644	106%
漁業施設共済	13,774	13,317	103%			
地域共済	9,161	7,598	121%			
合 計	400,429	377,494	106%	18,146	15,937	114%